

こんにちは

# 会社訪問記

ボックス一個でもお客様のニーズに即応、機動力を活かして迅速に収集運搬いたします。

## 株式会社愛知街美社

(名古屋市北区)



社内

名古屋市内を中心に、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬を行う株式会社愛知街美社。国道41号線を西へ入った静かな住宅地の中にある本社にお伺いし、三宅社長にお話をさせていただきました。

— 一般廃棄物と産業廃棄物では、どちらの方を先に始められたのですか。

三宅社長（以下三宅に略）『当社は昭和48年に一般廃棄物処理を手がけることから事業がスタートしています。産業廃棄物を始めたのは一般廃棄物に遅れること2年の昭和50年です。産業廃棄物に取り組んで、今年で20年になりますね。』



三宅社長

— 事業エリアは名古屋市内中心ということですが。三宅『一般廃棄物が名古屋市内中心です。産業廃棄物に関しては、名古屋市、愛知県、三重県、岐阜県から許可をいただいています。市内と周辺の春日井、小牧などを拠点に収集運搬を行わせていただいています。その他事業としては、一般土木、解体工事一式を行っております。』

— 産業廃棄物と一般廃棄物ではどちらを取扱う割合が多いでしょうか。

三宅『当社の場合は、一般廃棄物の方が多いですね。産業廃棄物は廃プラが圧倒的に多いです。将来的には、産業廃棄物の取扱ひ品目も増やしていきたいと思っています。現在、一般廃棄物と産業廃棄物を扱うスタッフを臨機応変に分けていますが、今後の効率や安全を考えると、役割分担を徹底させることが必要だと考えています。』

— 従業員教育について特に注意されている点は何でしょう。

三宅『車両を扱う仕事ですので、従業員の安全運転意識の徹底を心がけています。月一回は交通安

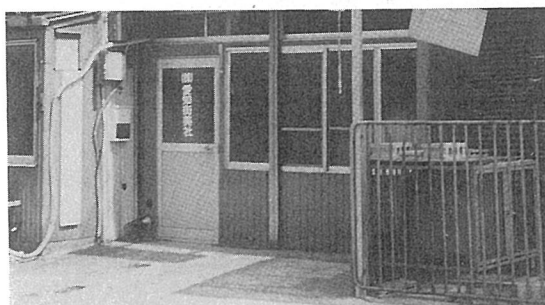
全に関する講習会を社内的に行い、交通安全の啓蒙に努めています。』

— では、貴社のモットーを教えてください。

三宅『モットーは、お客様のご要望であれば、量の多少にかかわらず迅速に収集運搬できるよう、常に臨機応変に小回りをきかせて対応していくことです。仕事の範囲であれば可能な限り、たとえボックス一個であっても収集に伺わせていただいています。』

— 最後に、今後の事業展開をお聞かせください。

三宅『不況のおり、収集運搬は今がいちばん苦しい時期だと思います。最終処分場不足は年々激しさを増し、廃棄物の減量化が必須事項になっています。リサイクルの必要性は高まる一方ですが、処理コスト面を考えると非常に厳しいですね。当社としても、いずれは中間処理の分野に進んでいきたいと考えていますが、現状ではなかなか難しい。いまは、特別管理産業廃棄物新規許可講習会の受講を行うなど、収集運搬業の幅を広げることに全力をあげています。そして、時機が到来すれば中間処理業に即進出できるよう勉強し、知識をためている最中です。』



社名/株式会社愛知街美社 所在地/名古屋市北区喜治1-311  
代表者/三宅準三 創業/昭和48年 従業員/9名 車両/4両  
TEL/052(901)2550 事業所/本社 営業種別/収集運搬  
取扱ひ品目/燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、動植物性  
残渣、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材